

器 01 手術台及び治療台
一般医療機器 手術台アクセサリ 70469000
スターボード

【形状・構造及び原理等】

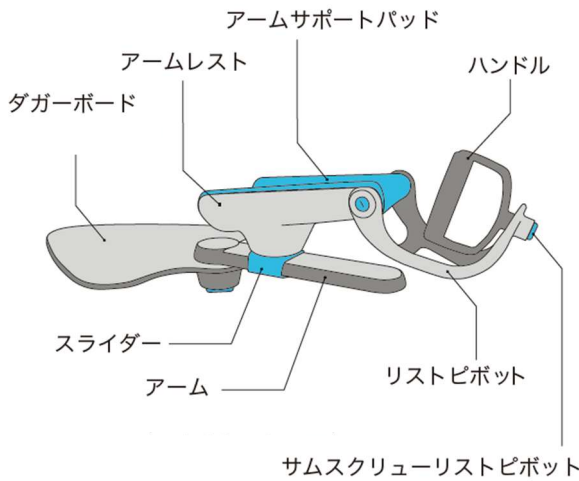
1. 概要

本品は腕の固定が必要な手技において、患者の腕の保持および位置決めをするため、手術台に設置して使用される。本品はスターボードおよびスターサポート、またはスターボードおよびエクステンションから構成される。

スターボード、アームサポートパッド、スターサポートおよびエクステンションは、それぞれ単品で輸入、販売される場合もある。

**2. 形状・構造

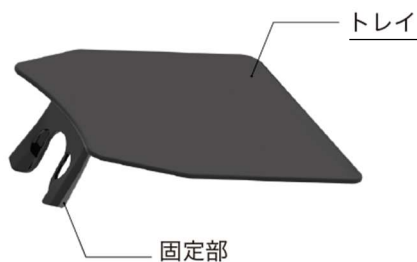
(1)スターボード



(2)スターサポート



(3)エクステンション



【使用目的又は効果】

本品は、患者の腕の保持および位置決めのために使用される手術台アクセサリである。

**【使用方法等】

1. スターボード単独で使用する場合

- (1) ダガーボードを仰向けの患者の肩関節の直下に合わせカテーテル台とマットレスの間に差し込む。
- (2) 患者の前腕をアームサポートパッドの上に乗せ、ハンドルが握りやすい位置までアームレストをスライドする。(装着したアームサポートパッドが不要な場合は取り外し、アームレストと前腕の間に必要に応じてクッション材を追加して敷く。)
- (3) 垂直にしたハンドルを握らせ、腕が楽な位置になるようにスライダの位置を調節する。
- (4) 患者の手の平が上向きになるように、ハンドルを回転させ、サムスクリュールリストピボットを調整し固定する。
- (5) 皮膚消毒と滅菌ドレープにより清潔域を確保する。
- (6) 手の平が上向きのままアームを動かし、腕を患者の体から離す。
- (7) リストピボットを下げ、手首を伸ばし、橈骨動脈へのアクセスが得られ、シー스가配置されたら、伸ばした手首を戻す。
- (8) 手の平が患者側に向き、親指が上を向くように、手首を内側に約 60° 回転させる。
- (9) 前腕部が患者の体の横に配置されるようにアームを患者の方へ動かす。

2. スターボードにスターサポートを組み合わせて使用する場合

- (1) スターボードを使用し、左橈骨動脈アクセス後、ハンドルから手を外し、左前腕をアームレストから持ち上げ、体の上に移動させる。
- (2) スターサポートのクリップ部をスターボードのアーム部に取り付ける。
- (3) スターサポートのアームサポート部を左上腕(肘関節近位)に当て、向きを合わせる。
- (4) スターサポートのクランプレバーを緩め、チューブをスライドさせ、前腕が体に対し水平方向に安定するよう、上腕肘関節近位を持ち上げる。
- (5) 左前腕が適切に配置できたら、クランプレバーを締め位置を固定する。

3. スターボードにエクステンションを組み合わせて使用する場合

- (1) スターボードのリストピボット先端部に、上からエクステンションの固定部を根元まで差し込み、固定されていることを確認する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

本品は熱により劣化する可能性があるため、滅菌しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管の条件

直射日光を避け、涼しく乾燥した場所で保管する。

2. 耐用期間

3年(スターボードおよびスターサポート。製造元の自己認証による。)

【保守・点検に係る事項】

**1. 洗浄

洗浄時の温度は 65℃を超えないこと。

本品は類似医療機器と同様の方法で洗浄すること。

本品への使用が認められた消毒剤の一例は以下のとおり。

- ・ 70%イソプロピルアルコール
- ・ 2%クロルヘキシジン／70%アルコール
- ・ 7.5%ポビドンヨード

※ディバーシー社の Tb は本品の洗浄に使用しないこと。[本品に損傷が生じる可能性がある。]

2. 保守

可動部の締め付けを適切に保つために締め付けを調整すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

*製造販売業者 ディーブイエックス株式会社

HP: <https://www.dvx.jp/>

製造業者 アデプトメディカル社

(Adept Medical Limited : ニュージーランド)